

街歩きヒストリア



「ブロンズ像は円鍔勝三作「夢にのる」。
建立当時も斬新なデザインが注目を集めた（小川敏明さん撮影）」

鈴木三重吉（1882－1936）は、広島市猿楽町（現在の中区紙屋町）で生まれました。大正7（1918）年に児童文学誌「赤い鳥」を創刊し、数々の童話・童謡を子どもたちに紹介したことで世に知られています。

こども図書館前には、昭和30（1955）年5月5日のこどもの日に建立された記念碑があります。台座の上のブロンズ像は、鳩を抱えたこどもが大きな魚の背に乗り、片手を空にかざし、世界に泳ぎ出そうとする姿のようです。

鈴木三重吉記念碑

子どもたちに夢と希望を

基町

④9



「赤い鳥」創刊号の表紙（1号1巻「赤い鳥の飾」）
所蔵 広島市中央図書館

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」が編集されます。

子どもたちに夢と希望を与えることに一生を捧げた三重吉の思いが、今も引き継がれています。

（文・高橋恵子さん）

